

| 意見交換会質疑応答 2019年7月10日（会場：乙川北部記念館） |   |
|----------------------------------|---|
| 質問1                              | 事業系ごみの手数料は、家庭系ごみの有料化に伴って値上げしないのか。   |
| 質問1への回答                          | 事業系ごみは現在10kgにつき150円の手数料を徴収しております。家庭系ごみ有料化にあたり、事業系ごみの手数料についても見直しを行う予定です。   |
| 質問2                              | ボランティアごみについて、有料化後はあらかじめ自治区等にごみ袋を配布するのか。   |
| 質問2への回答                          | クリーン作戦のような市が主催する事業は袋を配布し、持ち込みも無料とする予定です。その他のボランティアごみについての具体的なことは、今後決めていきます。   |
| 質問3                              | 愛知県内では4割の市町村しか有料化を実施していません。安易に有料化するのではなく何か他にごみを減量する施策を考えてほしい。   |
| 質問3への回答                          | 例えば、有料化していない豊橋市の事例では、家庭から排出される生ごみを分別回収し、バイオマス施設でリサイクルすることでごみが大幅に減少しました。半田市でもこれまで様々なごみ減量施策を行ってきましたが、ごみ減量が進まないため、今回の有料化の検討に至りました。 |
| 質問4                              | ごみ減量について、半田市民の意識が低いのか、意識付けが弱いのか。  |
| 質問4への回答                          | 半田市民の皆様のごみに関する意識は高いと考えています。ただ一方で、半田市を含めた知多半島南部地域でごみ量が多いのは事実です。ごみ減量に向け、積極的なPRを実施していく必要があると考えます。                                  |
| 質問5                              | 生ごみ処理機の補助の記事が市報にのったが効果はどれくらいあったのか。  |
| 質問5への回答                          | 生ごみ処理機等購入補助金の申請者数は例年より増えています。   |
| 質問6                              | 刈草・剪定枝の資源化について、どのように集めるのか。  |
| 質問6への回答                          | 半田市クリーンセンターへ直接持ち込まれたものについて分別し、資源化します。年間約800tの資源化を見込んでいます。   |
| 質問7                              | 公共資源回収ステーションの開設期間や位置の変更・増加の予定はありませんか。   |
| 質問7への回答                          | 今年度は、隔週2か所で実施していきます。実施状況を見て検討していきます。  |
| 質問8                              | 指定ごみ袋に、結ぶための持ち手をつけてほしい。   |
| 質問8への回答                          | 持ち手をつけると実際の容量が小さくなりますので、どちらがいいかは意見が分かるところです。新しい袋を作成する際は、皆様のご意見をお聞きして検討してまいります。  |
| 質問9                              | 外国人向けのごみ出しルール説明会を実施してみてもいいですか。  |
| 質問9への回答                          | 外国語のごみ出し冊子は3か国語（英語・中国語・ポルトガル語）で作成しているところですが、有料化にあたっては外国語版の説明資料や外国人を対象とした説明会の開催を検討してまいります。                                       |